



矢野ゆたか市長 所信表明

国は新政権の下、昨年12月に閣議決定された「平成22年度予算編成の基本方針」では、日本経済の動向に関して、景気は持ち直してきてはいるものの、高い失業率や物価の下落傾向など、依然として情勢は厳しいと見ています。

地方財政をめぐる動きと 狛江市の行財政運営

平成22年（西暦2010年） 狛江市議会第1回定例会に当たり、新年度に向けた施政方針と、

平成22年度は新基本構想に掲げた「私たちがつくる水と緑のまち」の実現へ動き出す初年度であり、狛江市の将来を方向付ける重要な年度です。

平成22年度 【2010年度】 所信表明

「私たちがつくる 水と緑のまち」実現へ

こうした中、国は同月に「平成22年度地方財政対策」を発表しましたが、新年度の地方税、地方交付税および臨時財政対策債などの一般財源総額は前年度比で3、317億円の増となっています。また、「地域活性化・雇用等臨時特例費」が創設されたことにより、交付団体ベースでは前年度比9、600億円の増額となりました。地方交付税の総額は1兆733億円増えています。地方税の減収のため、財源不足を補てんする臨時財政対策債は2兆5、583億円と大幅な増額となり、この公債費はその後の交付税で補てんされ

平成22年度一般会計予算案等の概要

要については、数字は概算となりますが、説明申し上げます。

特別会計を含めた予算総額は381億8,000万円、1.9%の増で、そのうち一般会計予算は、234億4,600万円、対前年度比13億6,900

万円で6.2%の増となりました。これは国による子ども手当の制度化や生活保護費の急増等が、主な要因です。

一般会計の歳入では、景気の低迷から市の一般財源となる市税、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金は、21年度に引き

続き減額となりました。株式等譲渡所得割交付金は増えました

が、地方消費税交付金は暦日要因と景気悪化により大幅な減額となっています。地方交付税は10億4,000万円、対前年度18.9%の増を見込んでおり、国庫支出金10億900万円の増は、主に子ども手当が創設されたことによるものです。繰入金、仮設園舎設置工事に公共施設整備基金を活用するため8,300万円、114.5%の増額といたしました。市債5億3,800万円の増額は、教育債1億6,700万円、臨時財政対策債3億7,000万円の増を主な内容としております。

歳出においては、総務費は2.2%の増ですが、主に庁舎耐震改修および増築工事基本設計委託や庁舎エレベーター改修工事によるものです。民生費の16.6%という大幅な増額は、先述したとおり、主に子ども手当の創設によるものです。衛生費は、樹林地取得経費や多摩川衛生組合負担金の減額で3.2%の減、農業費は市民農園の整備などで6.5%の増となっています。

商工費については、市制施行40周年事業の一環として実施する「音と光の祭典」事業等により45.4%の増、土木費は、調布都市計画道路3・4・16号線整備費（七差路）や市道34号線整備事業の減額などから8.8%の減となり、教育費は二中体育館等改築事業などのため3.6%増加しています。なお、公債費は、0.6%の増でございま

平成22年度予算案の主な事業、 新年度に取り組む主な施策等について

次に、平成22年度予算案の主な事業、新年度に予定している主な取り組み等について、説明申し上げます。この予算編成は、市長選挙で公約として掲げた「6つのビジョン」の実現と、

予算編成方針で示した5つの柱に沿って市政運営を進めていくことを念頭に作業を行いました。また「行財政基盤確立のための緊急行動計画」の到達点でもある、財政調整基金に頼らない収支均衡型財政を維持することを大前提として、法改正への対応や国庫補助金等の財源確保に留意しながら、市民サービスの向上に努めました。

市は、平成22年度予算案の主な事業、新年度に予定している主な取り組み等について、説明申し上げます。この予算編成は、市長選挙で公約として掲げた「6つのビジョン」の実現と、

日本経済の未曾有の危機の中で、狛江市では一昨年暮れから国や都、市長会等の交付金を活用し、可能な限り緊急経済対策を講じてきました。緊急融資あつ旋制度はこれまで申請131件、総額5億2,340万円の融資あつ旋を実施しています。消費を喚起しようと市内共通商品券は2回計2億2,000万

円を発行し、定額給付金や初夢抽選券発行と連動した事業としました。仕事起こしとして事業化した家具転倒防止器具助成は996件、住宅用火災警報器取付は1,389件、住宅リフォーム助成は75件で工事費約6,100万円となりました。また、雇用の確保策として打ち出した放置自転車の撤去活動などで新たに25人の失業者の雇用を生み出しています。

しかし、今なお景気の好転は見込めず、新年度においても、こうした取り組みを継続させなくてはなりません。まず、時限立法であった融資あつ旋制度を整理し、創業支援資金融資制度や小口零細企業事業資金融資制度を創設することにより小規模事業者等への支援に焦点をあて、よりきめ細やかな制度へと切り替えることにしました。20年度事業として好評だった「こまえ元氣わくわくコンテスト」を、新年度はメニューを変えて実施するとともに、家具転倒防止器具助成を継続させてまいります。放置自転車の誘導・撤去活動など、国や都の補助を活用しながら緊急雇用対策も維持し、昨年10月から始まった、離職者の求職活動を支援するための住宅手当緊急特別措置事業は、通年で実施をいたします。

なお、国の地域活性化・きめ細かな臨時交付金9,000万円余りは、21年度補正予算に計上して地元事業者の仕事づくりに資することとし、学校や市民利用施設の修繕、道路補修に充てていきます。

また、母子家庭の自立支援事

業のうち高等技能訓練の対象者を増やすとともに、児童扶養手当の父子世帯への拡大、特別な支援を必要とする小・中学生への学校行事費への助成も実施いたします。

狛江に対する愛着を 深め、市民とともに 魅力あるまちづくりを

今年は、市制施行40周年の節目に当たりますが、すでに記念事業市民実行委員会、庁内での記念事業委員会を設置し、多様な企画が検討されています。単なる式典に終わらせず、これを元氣な狛江づくりの機会ととらえ、市民と一緒に祝い狛江を見

つめ直し、連帯感を深める契機とします。音楽や花火を中心とした「音と光の祭典」をはじめ各市民団体の取り組みを冠事業と位置付け、年間を通して多彩なイベントをつくり上げながら、市民の一体感、狛江への愛着感をさらに醸成してまいります。

「音楽の街・狛江」「絵手紙発祥の地・狛江」の事業は、市民の間にしっかりと定着してきました。新年度においては、狛江駅北口噴水上に野外ステージの設置、庁舎内に絵手紙揭示板の設置を行うとともに、両事業の連携企画を実施します。その他、広く市民文化の振興に努め、狛江の魅力づくりを推進します。

平成25年度の東京・多摩国体開催に向けて実行委員会を設置するとともに、狛江市で実施される少年男子バレーボール大会の審判員の養成を図ります。40周年記念事業として、写真集「昭和の狛江」を作成し、狛

江の歴史の保存に努め、地元産野菜を活用したイベントを通して、市内産業の振興にもつなげていきます。

緑の保全では、東野川樹林地購入の最後の年度となりますが、市民農園の増設、弁財天緑地外柵の改修に加え、新年度では狛江駅前などを「花いっぱいエリア」として潤いのあるまちづくりにも踏み出します。また、緑

被率調査を実施し、23年度に行う全市的な緑の実態調査の準備に入ります。そのために、市民と専門家、行政との協働で調査の実施・分析が行えるよう、事業の企画・立案を並行して進めます。

友好都市との交流では、新潟県川口町が3月末で長岡市と合併します。新年度以降も川口地区とは住民レベルでの交流を継続していくこととします。その一環として、21年度で東京都市長会助成事業の助成期間が終わりましたが、このうち「ふるさと自然体験事業」は市費によって継続することとしました。また、小菅村で取り組んでいる「木づかい教室」事業の成功を願い、市内学校施設での小菅産間伐材の活用に努めてまいります。

将来の狛江の担い手 として、子どもたちが 生き生き育つまちを

子どもたちは、市民の宝であるとともに、将来の狛江の担い手です。公共施設再編方針では、子どもたちが健やかにたくましく育っている環境づくりを、狛江の地域戦略の一つに位置付けました。新年度においても、

地域とのかかわりを重視しながら、次世代育成に必要な条件整備、環境の改善に努めます。

まず、乳幼児のために、「みんなで子育て事業」の実施、ママパパ学級回数増、教育研究所プレイルームの空調設備更新等を予算計上しました。認可保育園増設計画を新年度中にまとめ、保育園待機児解消を図っていきます。

教育では、少人数授業講師の時間を増やし、教育相談、不登校対策を充実します。また、特色ある学校づくりへの助成強化、学校図書館司書臨時職員の研修機会等の充実、部活動外部指導員の配置時間増、外国人児童生徒に対する日本語指導の時間数を増やします。施設整備では、二中の体育館改築工事に着手するとともに、新学習指導要領に対応するため市内初めての武道場や多目的室を併設します

が、これらの設計に当たっては環境保全や災害対策に留意し、地域に開かれた施設として配慮しております。緑野小のプール改修、一中の管理諸室空調改修の各工事も実施します。放課後対策として、猪方前原学童保育所の移転改築工事設計、三小フリースタイル開始、五小フリースタイルの三季休業中の実施なども行います。

その他、松原西児童遊園を開設するとともに、子ども会議で出された要望に応えるため、西河原公園内に時計塔を設置します。また、若い世代がまちづくりにかかわる場や機会を整え、そのエネルギーを生かしていくために、青少年会議を開催しま

す。農業経営基盤の確立により、後継者の育成という願いも含めて農業経営改善計画推進事業補助制度を創設します。

市民誰もが安心・快適に 住み続けられるまちへ

昨年実施した市民意識調査で、

市民がまちづくりにもっとも期待していたのが「災害や犯罪のないまち」でした。狛江市ではこれまで、安全なまちづくりを市政運営上最重要課題として、市民ぐるみの取り組みを繰り広げてきました。これが大きな成果を生み、東京の多摩26市、23特別区のうち、刑法犯認知件数は少ないほうから4位、交通人身事故件数は同じく2位、火災発生件数は6位となっています。総合的にみれば、狛江市は東京都で安全な都市の一つとなっており、これからも継続させ、東

京でもっとも安全な都市を目指すためにも、市民との協働の力を大切にしなが、計画的に防災防犯等の体制を確立させていきます。

まず、学校関係施設の耐震化では、六小の体育館耐震補強工事、一中の校舎・体育館耐震補強および改修工事、二中の体育館等改築工事、三小と四中の各体育館耐震補強工事設計を行います。

ですが、これで小学校の必要な耐震化は完了し、中学校の耐震化完了の目途が見えてきます。市立保育園に関しても、和泉・三島保育園の耐震診断、駒井保育園改築工事基本設計、藤塚保育園改修工事実施設計の予算を計上しました。これらの保育園工事にかかる仮設園舎について

は、現在の自転車撤去保管場所に建設することとします。

また、いざというとき、災害対策本部となる庁舎の耐震改修および増築工事基本設計をする

こととし、民間木造住宅の耐震改修助成は新年度も継続いたします。

市消防団に対する装備等の拡充、水防倉庫の新設工事設計を行うとともに、先ほど述べたとおり家具転倒防止器具助成事業の継続も図り、新たな事業として災害時情報伝達のためのエリアメールを導入してまいります。

防犯対策としては、調布地区防犯協会狛江支部連合会の協力をいただき青色回転灯搭載車パトロールを強化し、21年度から実施している防犯診断チェックシートの普及とその他の防犯診断講習会の開催を新年度も続けます。

交通安全においては、交通安全計画の策定に着手するとともに、引き続き中学生を対象にスタントマンを活用した交通安全教育を実施します。また、新たに、小学生を対象とした自転車運転免許制度も創設します。

社会的に弱い立場の人びとを守るために、高齢者、障がい者の社会参加を促し、ネットワークづくりやセーフティネットの強化に努めました。

独居高齢者の孤独死を防ぐために、これまで電流の流れを応用した「高齢者見守りシステム」の共同研究を進めてまいりましたが、その結果を分析・評価したうえで、本システムの導入は見合わせ、新たな見守りシステムを選択しました。これはセン

サーによって人を感じするシステムで、「あんしんS」など既存の見守りシステムとの統合が可能なため、効率的な運営に資すると判断したためです。高齢者配食サービスに対しても、見守りネットワークを強める一環として対象者を要支援認定者まで拡大します。高齢者の外出支援のため、一時休憩スポット・ベンチを増設するとともに、おトイレ安心ネットワーク事業において、市民協働で「おトイレマップ」を作成します。好評の高齢者の「うんどう教室」も3カ所目の運動遊具増設を南部地域に予定しております。「健康づくり市民のつどい」を新たに「あいとびあ健康まつり」としてスタートさせ、節目年齢の乳ガン・子宮ガンの検診費用助成を継続します。

障がい者の自立と社会参加の促進を願い、地域の情報を共有し、具体的に協議する場として地域自立支援協議会を設置してまいります。「障がい者の日」事業や特別支援教育支援員の配置を充実することに加え、精神障がい者のためのグループホームが新設されるとともに、精神障がい者に対する地域生活安定化支援事業を開始します。

また、消費生活相談員の研修を実施するなど、消費生活相談を充実させます。

地球温暖化防止に向けて環境負荷の軽減に努めつつ、良好な環境形成を図るために、ごみ半減新聞の戸別配布化やリサイクルカレンダーの増ページによって、市民への啓発を強めます。また、街路灯にLED照明を導

入いたします。
都市環境を整備するために、放置自転車の監視と撤去の強化を続けるとともに、市道 32 号線の用地買収継続、市道 34 号線の商店街一部用地買収、3・4・16 号線七差路用地の買収を促進します。市道 8 号線整備工事は 22 年度で完了し、3・4・4 号線の工事を実施します。

行財政基盤の強化と新たな長期展望の提示を

「行財政基盤確立のための緊急行動計画」、「アクションプラン」の目標はそれぞれおおむね達成し、財政調整基金に頼ることなく財政運営ができるようになりましたが、この 1 年余りの厳しい経済危機のもと、税収減など新たな困難に直面しつつあります。税の電話催告システム導入、粗大ごみ収集運搬事業の

委託化など、引き続き財政基盤の強化に努めます。また 4 月 1 日から「アクションプラン」に掲げた職員数 467 人体制となりますが、市民サービスの低下を招かないよう、行政評価に外部評価を取り入れ、段取り力研修の実施など効果的な事業推進、職員の企画立案能力育成など、庁内組織などの整備・力量の増大に全力を尽くしてまいります。

それとともに、緊急行動計画以来、大きな発展を見せてきた市民参加と協働を、さらに前進させるため、市民活動支援センター開設の準備を進めます。各分野においても、新たな狛江の発展を目指し、計画的な行政の推進に留意し、新年度においては教育振興基本計画ならびに食育推進計画の策定、都市計画マスタープランおよびスポーツ振興計画の改定を行います。

今後、目指すべき方向

平成 22 年度は、一つの画期をなす 1 年となります。新基本構想と前期基本計画、公共施設再編方針、第 4 次行財政改革大綱が動き出し、これからの新しい狛江の建設がスタートします。それは、市民と協働のまちづくりから住民自治のまちへと向かう一歩でもあり、また、市民誰もが誇りと愛着を持って過ごせるようなまちづくり、安心して住み続けられる地域社会の構築に接近する過程でもあります。現在の政治・経済の動向や社会情勢を考えたとき、さまざまな障害が横たわっており、安易に

実現できる課題ではありませんが、地方自治体としての基本的な責務であることを充分認識して、着実に、かつ創意を持って、「私たちがつくる水と緑のまち」、「市民が輝く狛江」を目指していくものです。
平成 22 年度はこうした流れをつくり出す端緒の年と位置付け、職員が一丸となり、市民と固く手を携え前進してまいります。議員各位におかれましても、それぞれのお立場からさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。平成 22 年度の所信表明といたします。

「狛江市地域防災計画」を修正しました

―市民・地域・防災機関の連携・協働による災害対策―

狛江市地域防災計画の概要をお知らせします。
なお、全文は安心安全課および各公共施設で閲覧できるほか、市ホームページからもご覧になれます。
〔問い合わせ〕安心安全課

基本的な考え方

自助・共助・公助の役割と連携・協働の推進

①市民の役割（自らの生命は自らが守る＝自助）②地域の役割（自分たちのまちは自分たちで守る＝共助）③市などの防災機関の役割、これら三つの役割の明確化と市・市民・事業者の連携に基づく災害対策の推進

災害対策の具体的な取り組み

震 災

●被害想定

平成 18 年 5 月に東京都防災会議が公表した「首都直下地震による東京の被害想定」による東京湾北部地震と多摩直下地震

●10 年後の減災目標

▽住宅の倒壊・火災による死傷者の半減
▽住宅の倒壊・火災による避難者の 30% 減少およびライフライン被害等による避難者の 7 日以内の帰宅

●地震に強いまちづくり

狛江市都市計画マスタープランに基づくまちづくりの中で、都が実施した「地震に関する地

また、関係機関の協力を得て、医療救護所の設置など災害初期の医療救護を実施します。

●避難者対策

▽避難の勧告・指示 市は警察署、消防署と協議を行い、避難が必要な地域および避難先を定めて、避難の勧告または指示を行います。

▽避難方式 原則として一時避難場所（小・中学校のグラウンドなど）に集合してから広域避難場所（多摩川河川敷など）へ避難する 2 段階避難ですが、避難の勧告・指示を行ういとまがない場合や災害の状況等により、広域避難場所への直接避難を行います。

▽避難所の開設・運営 自宅に戻ることでできない市民のために避難所（小・中学校体育館など）を開設します。運営は、避難者による自主管理運営を基本とし、必要に応じて市職員、ボランティアなどが協働します。

▽避難所運営協議会 市民による避難所の自主運営体制の確立を図るために、事前に協議・検討を行う協議会の設置を各地区で進めます。

●外出者対策 関係機関の協力を得て、鉄道運行状況や帰宅道路に関する都などからの情報の提供、世田谷通りを徒歩で帰宅する方に対する沿道支援などを行います。

●トイレの確保 159 台の組み立てトイレの備蓄を行うほか、事業所、マンション管理者および家庭に対し、3 日間対応できるように、携帯トイレなどの備蓄を行うよう働きかけます。

●医療救護対策 市災害対策本部は被害状況の把握と医療機関等との情報連絡体制の確保に努めます。

●ライフライン施設等の応急・復旧対策 電気・ガス・上下水道・通信・交通の各機関は、それぞれの計画に基づき、応急・復旧対策を速やかに実施します。

●災害復興の基本的な考え方 基本目標を、市民・地域社会との連携・協働による「安心・安全なまち」「快適で利便性のあるまち」の再建と定め、復興を図ります。

●風水害 都と連携をとり、野川流域において 1 時間当たり 5mm の流出抑制を行うために、まちづくり条例に基づき、雨水流出抑制設備の整備を図ります。

風 水 害

●雨水流出抑制施設

●下水道の整備 1 時間当たり 50mm の雨に対する安全度確保を目標として整備を図ります。

●洪水ハザードマップの作成・公表 浸水区域や水深、避難所など

狛江市地震ハザードマップを作成しました

地震による地盤の揺れやすさや建物の倒壊割合を算出した情報を掲載した地震ハザードマップを作成しました。

お住まいの地域の傾向を確認して、建物の耐震化や家具類の転倒・落下防止など地震に対する備えにお役立てください。

全戸配布（事業所等を含む）
〔日程〕3 月 16 日（火）から
※安心安全課と都市整備課でも配布します。また、市ホー

を示した洪水ハザードマップを作成し、市民の防災意識の高揚と水害時の迅速かつ円滑な避難行動のための資料として活用を図ります。

●水防演習計画

水防工法の習得を目的として、関係機関の指導・協力により、原則として年 1 回以上の水防演習を実施します。

●避難者対策

▽避難の勧告・指示 避難の勧告・指示の判断・伝達マニュアルの具体的な検討を行い、早期の作成に努めます。

また、「災害時要援護者避難支援プラン」の作成に対応して、災害時要援護者に対する避難・勧告の判断・伝達マニュアルの作成を行います。

▽避難所の開設 多摩川洪水時と集中豪雨などによる内水はんらんでは浸水状況が異なるため、それぞれに対応して避難所予定施設を定め、洪水ハザードマップなどにより、あらかじめ市民に周知を図ります。

ムページからもダウンロードできます。

説明会

〔日時・会場〕▽3 月 18 日（木）午後 6 時 30 分～7 時（6 時間開場）・南部地域センター▽25 日（木）午後 8 時～8 時 30 分（6 時間開場）・中央公民館

〔内容〕狛江市地震ハザードマップ、狛江市防災マップ、狛江市洪水ハザードマップの活用方法等について

〔問い合わせ〕安心安全課

平成
22 年度

当初予算案がまとまりました

平成22年度当初予算案がまとまりました。予算規模は、一般会計の予算額で見ると、234億4,600万円で前年度比13億6,900万円（6.2％）の増額となっています。

また、6つの特別会計の予算総額は、147億3,443万2,000円で、前年度比6億4,607万8,000円（4.2％）の減額となっています。

なお、東京都への水道事務移管に伴い、平成22年度から受託水

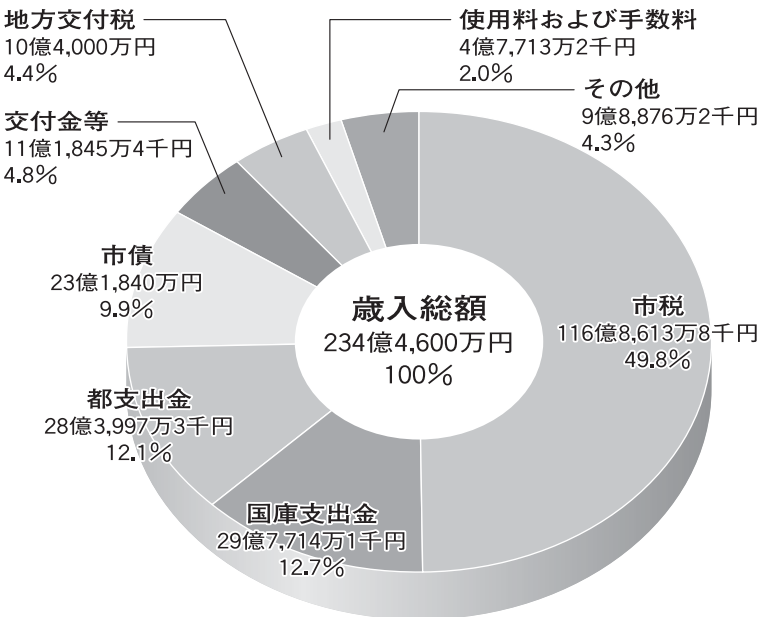
道事業特別会計がなくなりました。

平成22年度の予算については、予算編成方針で示された5つの事項を重点として予算編成を行ってきました。

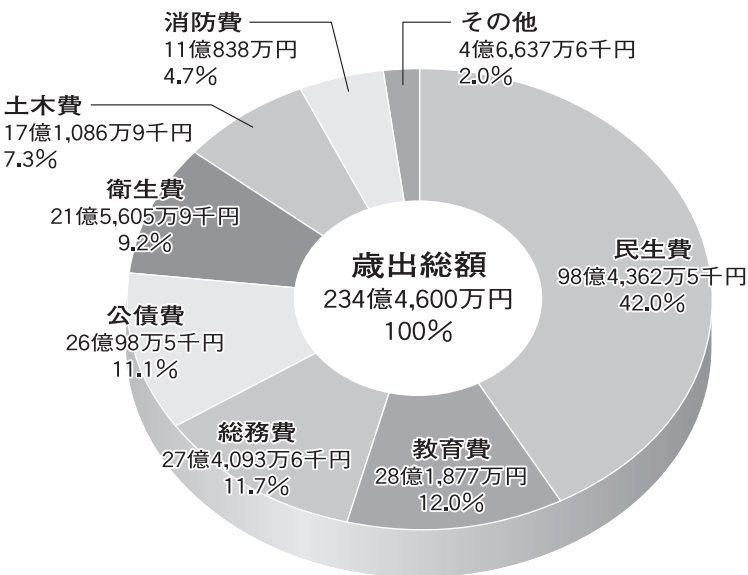
この予算案は、現在開会中の平成22年狛江市議会第1回定例会で審議されています。

〔問い合わせ〕財政課

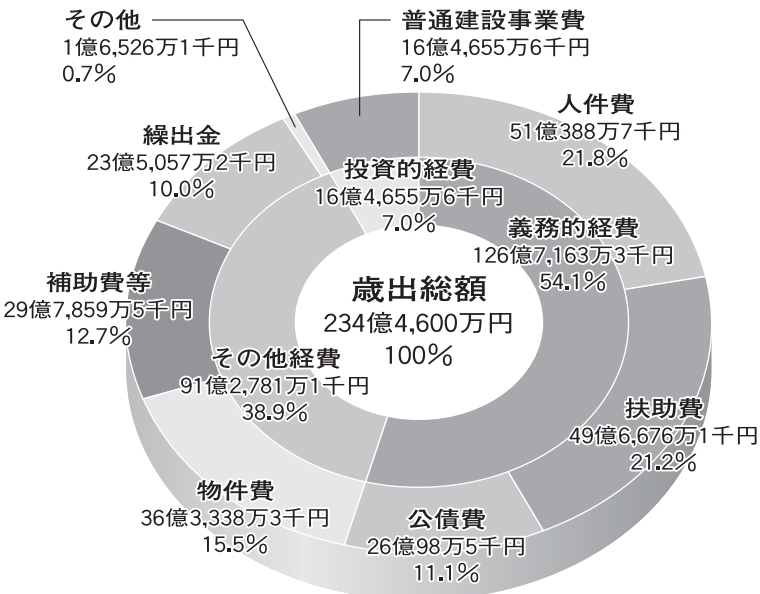
歳 入



歳 出



歳 出（性質別）



予 算 編 成 方 針

●深刻化する経済状況に対応し、市民の暮らしや産業を守るために

これまで、国や都の交付金・補助金等を活用し、プレミアム付共通商品券発行の支援、住宅のリフォーム助成や利子などを全額補助する融資あっ旋制度構築など実施してきたが、まだまだ経済状況は好転していない。新政権下で新たな景気浮揚策がどうとられるのか見極めながら、引き続き消費喚起や仕事確保など、効果的な対策を講じていく。また社会的に弱い立場の市民に対する影響も把握しながら、適宜、的確に対応するものとする。

●狛江に対する愛着を深め、市民とともに魅力あるまちづくりを

狛江市は今年市制施行40周年を迎えるが、市民と一緒に祝い、狛江を見つめ直し、連帯感を深める機会とする。「音楽の街ー狛江」「絵手紙発祥の地ー狛江」の取り組みも順調に進んでいるが、各種イベントなどを通じてこれらの定着を図る。また、市民文化の振興、水と緑のまちづくり、狛江の歴史の保存など、魅力あるまちづくりに向け、40周年を契機とした事業の立ち上げに、全庁的に知恵や工夫を発揮されたい。

●将来の狛江の担い手として、子どもたちが生き生き育つまちを

安心して子育てができ、子どもたちの可能性を引き出す環境づくりは、地方自治体の重要な責務である。子どもたちが狛江に誇りや愛着を持てるよう、地域とのかかわりを重視しながら、次世代育成に必要な条件整備、学校環境の改善に努める。参加や協働の前進のため、若い世代がまちづくりにかかわる場や機会を整え、青少年のエネルギーを生かしていく。

●市民誰もが安心・快適に住み続けられるまちへ

安心・安全は、すべての市民の共通した願いである。狛江市は、関係機関と市民との連携のもと、防犯、交通安全、消防の各分野で貴重な成果を挙げてきたが、これに安住することなく、さらに市民ぐるみの活動と計画的な防災体制確立を推進する。

高齢者、障がい者が、地域の中で孤立しないように社会参加を促しつつ、ネットワークづくりやセーフティネットの強化に留意する。

地球温暖化防止に向けて環境負荷の軽減に努めつつ、良好な環境形成を図っていく。

●行財政基盤の強化と新たな長期展望の提示を

新年度から新たな基本構想、基本計画のもとで市政運営を行う。また行財政改革の新しい計画がスタートする。これまで、行財政基盤の確立を最優先課題としてきたが、引き続きその強化に努めるとともに、今後は将来展望を明示しながら、市民と行政との協働でどのような狛江のまちを創っていくのか、これらを描く作業に力点が置かれるようになる。こうした到達点にふさわしい政策を展開するとともに、効果的な事業の推進、職員の企画立案能力の育成、柔軟かつ機動的な組織づくりなど、そのための庁内体制の構築を目指す。

平成22年度会計別予算規模

(単位：千円)

区 分	年 度	平成22年度	平成21年度	比較増減	
				金 額	率
一 般 会 計		234億4,600万	220億7,700万	13億6,900万	6.2%
特 別 会 計		147億3,443万2	153億8,051万	△6億4,607万8	△4.2%
	国民健康保険	74億5,745万1	81億1,661万8	△6億5,916万7	△8.1%
	老人保健医療	230万9	2,150万	△1,919万1	△89.3%
	後期高齢者医療	14億467万3	13億898万9	9,568万4	7.3%
	介 護 保 険	38億6,341万1	38億2,579万2	3,761万9	1.0%
	公 共 下 水 道	19億4,101万8	19億2,534万2	1,567万6	0.8%
	駐 車 場 事 業	6,557万	6,726万9	△169万9	△2.5%
	受託水道事業	—	1億1,500万	△1億1,500万	皆減
合 計		381億8,043万2	374億5,751万	7億2,292万2	1.9%



—その 194—

戦後の多摩川

子どもの釣り遊び

多摩川がまだきれいだっただ頃、子供たちの間では魚釣りが盛んだった。裏庭の竹を切って適当な長さにし、それに釣り糸をつけて水の中に垂らすと、ハヤ、ヤマベ、フナ、マルタ、ウグイ、クチボソ、サイゾウ、ドジョウなどが面白いように捕れた。

餌はミミズや蛆虫である。ミミズはどこにでもいるし、蛆虫は釣り道具屋で売っていた。鉄砲鉈もよくやった。水中眼鏡をつけ、岸辺に張り出したコンクリートの上に腹ばいになったり、ひざまで水に浸かり、時には水の中に潜って魚を探し、魚めがけて鉄砲鉈を打ち込んだ。鉄砲も鉈もお手製である。肥後の守（切り出しナイフのこと）で溝をつけた竹筒の鉄砲の中に、針金で作った鉈を置き、古いチュウブで引っ掛けて、引いて放すと鉈が飛び出して魚に当たる。その頃の遊びはお金をかけず、身近にあるものを使って、工夫しながら道具をつくり、それを生かして遊んだものである。

簡単なのはあんま釣りである。棒の先に糸と針をつけ、針に餌をつけて、ただ動かしているだけで魚が引っかかる。多摩川にはそれほどたくさんの魚がいた。ドウも使った。中にうどん粉とサナギの粉を練った練り餌を入れるが、ご飯でもうどんでも何でも餌になった。そして川底に沈めておくとエビや小魚が入る。エビが入っていると子どもたちはその場で食べてしまった。捕った魚は、エノコログサのような穂のついた草の茎にエラを通し、何匹も連ねて家に持ち帰った。下向きにした草の穂がストッパーになるので落ちることがなかった。家では焼いたり佃煮にして食べたが、特にフナの甘露煮はお正月には欠かせない食べ物だった。

二ヶ領用水堰の下流にはウナギがいた。蛇籠や岩の隙間に潜っているところを鉈で突いたり、石の近くに網を置き、石をどけながら足踏みをして網に追い込んだ。また、輪切りにしたアユを釣り針につけ水の中に投げ入れておく方法もあった。どうしたら捕まえられるかウナギと子どもの知恵比べである。捕ったウナギはこれも家に持ち帰って蒲焼にし、夕飯のおかずにした。岸辺にはエビガニもいた。竹竿の先に糸をつけ、その先にカエルやスルメをつけて水中に垂らすと両方のハサミで挟んでくる。それを水面近くまで上げて、下に網を置き、水面上げると網の中に落ちてくる。捕ったエビガニは、ゆでて、殻をとり、尻尾の肉だけ醤油をつけて食べた。食糧難の時代、エビガニも立派な食料としてみんなの胃袋を満たしてくれた。

モズクガニもいた。多摩川のものはあまり大きくないから肉を取って食べることができないので、すりこぎで細かく砕いて味噌汁などに入れた。よくだしが出ておいしかったという。

井上 孝

（狛江市文化財専門委員）

行政けいごばん

3月の夜間・日曜納税窓口の税の納め忘れはありませんか？

▽夜間納税窓口

〔日時〕25日(木)午後8時まで

▽日曜納税窓口

〔日時〕28日(日)午前8時30分～午後5時

〔会場〕納税課

※納付は便利で納め忘れのない口座振替をご利用ください。
〔問い合わせ〕納税課

市ホームページ等の利用を一時休止します

スーパー機器のメンテナンス作業を行うため、次のとおり利用を一時休止します。
〔日時〕3月24日(水)午後5時～午前零時

〔休止するシステム〕▽市ホームページ▽市立学校ホームページ▽施設予約端末（中央公民館のみ）

〔問い合わせ〕政策室広報広聴担当、公民館 ☎（3480）3201

平成22年度市職員募集

平成22年度中における職員の欠員補充のため、採用資格試験を実施します。

〔職種〕一般事務（身体障がい者対象）

〔対象〕昭和39年4月2日以降生まれの身体障害者手帳の交付を受けている方で、活字印刷による出題に対応できる方

〔学歴区分〕大学・短大・高校

〔募集人員〕若干名

〔実施要項・申込書配布期間〕3月25日(木)まで職員課で配布

※市ホームページからもダウンロードできます。

〔提出書類〕▽受験申込書▽身体障害者手帳の写し▽最終学歴卒業証明書および成績証明書▽受験票送付に係る80円分の切手

〔郵送の場合〕
〔申し込み〕3月25日(木)（必着）までに職員課採用試験担当へ。
※郵送の場合は特定記録で送付してください。

〔第一次試験日〕4月4日(日)

〔採用予定日〕6月1日(火)

〔問い合わせ〕職員課

狛江市環境保全実施計画推進委員会市民委員募集

環境保全等の取り組みを、市民・事業者・行政の参加と協働で進めるため、環境保全実施計画推進委員会を開催しています。
〔対象〕18歳以上の市内在住・在学・在勤者で、平日夜間の会議に出席できる方

〔募集人員〕3人以内

〔任期〕平成24年3月31日まで

〔内容〕実施計画に基づき、4ワーキングに委ねた企画・運営の状況把握と取りまとめなど

〔申し込み・問い合わせ〕3月31日(必着)までに、作文「環境について思っていること」(字数制限なし)をまとめ、別紙に住所・氏名・生年月日・電話番号・市のほかの審議会等に属する方は、その名称を記載の上、環境管理課環境整備係へ。

70歳から74歳までの方の医療費が1割負担のまま据え置きになります

審議会等の公開

国民健康保険に加入している70歳から74歳の方で、高齢受給者証に「2割（平成22年3月31日までは1割）」と記載されている方は、4月1日から医療費の負担割合が1割から2割に引き上げられる予定でしたが、1年間据え置きとなりました。

対象の方には、「1割」と記載した高齢受給者証を3月下旬に送付しますので、4月1日以降は、新しい高齢受給者証を使用してください。

また、今までの高齢受給者証は、名前などが分からないように細かく切るなどして破棄してください。

【平成21年度第4回狛江市市民福祉推進委員会】
〔日時〕3月25日(木)午後6時30分から
〔会場〕4階特別会議室
〔問い合わせ〕福祉サービス支援室総合調整担当

【狛江市地域包括支援センター運営協議会】
〔日時〕3月19日(金)午後7時30分から

【音楽の街「狛江」構想推進委員会】
〔日時〕3月23日(火)午後7時～9時
〔会場〕502・503会議室
〔案件〕平成21年度の総括と平成22年度の計画等
〔問い合わせ〕地域活性課市民文化係

【平成21年度第4回狛江市市民福祉推進委員会】
〔日時〕3月25日(木)午後6時30分から
〔会場〕4階特別会議室
〔問い合わせ〕福祉サービス支援室総合調整担当

後期高齢者医療保険料率が変わります

平成22年度から、東京の多摩26市、23特別区すべての自治体で、所得にかかる保険料率が6・56％から7・18％に変わります。

主な要因としては、一人当たりの医療給付費の伸び率が3・1％見込まれることが挙げられます。ただし、均等割額は据え置きのため、年金収入が168万円以下の方は前年の保険料額と変わりません。

また、所得に応じて保険料を軽減する措置は、従来どおり継続されます。

保険料は、被保険者（加入されている方）個人単位で算定し、被保険者全員が均等に負担する「均等割額」と被保険者の前年所得に応じて負担する「所得割額」を合計した額になります。

〔問い合わせ〕健康支援課保険年金係

〔会場〕502・503会議室
〔案件〕平成22年度事業計画等
〔問い合わせ〕介護支援課高齢者支援係

【ごみ半減推進審議会】

〔日時〕3月23日(火)午後2時30分から
〔会場〕ビン・缶リサイクルセンター
〔案件〕一般廃棄物処理基本計画の策定に関する事項
〔問い合わせ〕清掃課

【平成21年度第4回狛江市市民福祉推進委員会】
〔日時〕3月25日(木)午後6時30分から
〔会場〕4階特別会議室
〔問い合わせ〕福祉サービス支援室総合調整担当

【音楽の街「狛江」構想推進委員会】
〔日時〕3月23日(火)午後7時～9時
〔会場〕502・503会議室
〔案件〕平成21年度の総括と平成22年度の計画等
〔問い合わせ〕地域活性課市民文化係

【平成21年度第4回狛江市市民福祉推進委員会】
〔日時〕3月25日(木)午後6時30分から
〔会場〕4階特別会議室
〔問い合わせ〕福祉サービス支援室総合調整担当

【狛江市地域包括支援センター運営協議会】
〔日時〕3月19日(金)午後7時30分から

【音楽の街「狛江」構想推進委員会】
〔日時〕3月23日(火)午後7時～9時
〔会場〕502・503会議室
〔案件〕平成22年度事業計画等
〔問い合わせ〕介護支援課高齢者支援係

また、所得に応じて保険料を軽減する措置は、従来どおり継続されます。

保険料は、被保険者（加入されている方）個人単位で算定し、被保険者全員が均等に負担する「均等割額」と被保険者の前年所得に応じて負担する「所得割額」を合計した額になります。

〔問い合わせ〕健康支援課保険年金係

以下は広告枠です



東京都住宅供給公社によるケア付き高齢者住宅

「明日見らいふ南大沢」

参加無料！

★事前にお電話にてご予約ください。

★見学会の昼食も無料です。

【運営業務委託】社会福祉法人 聖隷福祉事業団

〇お問い合わせ

〇見学会予約

〇資料の請求

介護スタッフ

診療所（建物2階併設）

協力医療機関『聖隷クリニック南大沢』を設置

■交通/京王相模原線「南大沢」駅下車、バス約5分
「南大沢団地」バス停下車約2分(約100m)

TEL. 042-679-3043

〒192-0364 東京都八王子市南大沢3-16-1

健康と衛生

健康診査 Health

■1歳6カ月児健康診査

〔日時〕4月5日(月)受付時間は午後1時～1時30分〔会場〕あいとびあセンター〔対象〕平成20年9月生まれの幼児〔持ち物〕母子健康手帳・問診票・保険証・現在使っている幼児の歯ブラシ※対象者には個別に問診票を送付しています。

教室 Health

■育児学級

生後5・6カ月ごろの乳児の保育と離乳食について勉強します。受講中は民生・児童委員の協力により乳児をお預かりします。

〔日時〕4月1日(木)受付時間は午後1時～1時20分（3時終了予定）〔会場〕あいとびあセンター
1〔対象〕第一子目の保護者
〔定員〕先着25人〔持ち物〕母子健康手帳・筆記用具・バスタオル・乳児の飲み物など
〔申し込み・問い合わせ〕健康支援課健康推進係 ☎（3488）1181へ。

■4月の介護予防普及啓発事業

▽健美操 〔日程〕7日(水)〔講師〕勝島和佳恵さん
▽カルシウムをしつかり摂ろう（骨密度測定）骨粗しょう症・動脈硬化予防 〔日程〕15日(木)〔講師〕百合本真弓さん（管理栄養士）



▽転倒予防のための腰痛体操 〔日程〕21日(水)〔講師〕大場克人さん（理学療法士）

各日〔時間〕午後1時30分～3時〔定員〕先着20人※水分は各自で準備し、運動の際は、動きやすい服装・上履きをお持ちください。
〔申し込み・問い合わせ〕3月16日(火)からこまえ苑 ☎（3489）2422へ。

健康相談 Health

■フロアー健康相談

自分や家族の健康のこと、食事のこと、子育てのことなど、保健師・管理栄養士・歯科衛生士等が相談をお受けします。
〔日時〕3月26日(金)午前9時30分～11時30分〔会場〕あいとびあセンター
〔問い合わせ〕健康支援課健康推進係 ☎（3488）1181

小児初期救急
平日夜間診療

〔診療日〕月～金曜日（慈恵第三病院の休診日は除く）
〔受付時間〕午後7時～9時30分
〔対象〕15歳以下の急病の方※事前に電話をしてから受診
○慈恵第三病院内「狛江調布小児初期救急平日準夜間診療室」
☎（3488）2061

休日診療

〔診療日〕21日・22日・28日
〔受付時間〕午前9時～11時30分・午後1時～4時30分
〔会場〕あいとびあセンター
○休日応急診療所
☎（3488）9121
○休日歯科応急診療所
☎（3488）9171
○休日診療薬局
☎（3488）1519

24時間
医療機関案内



○ひまわり
☎（5272）0303
http://www.himawari.metro.tokyo.jp/
○東京消防庁救急相談センター
☎ 71119
○狛江消防署
☎（3480）0119

市内で活躍する

地域安心安全パトロール団体紹介 12

和泉北町会

パトロールがスタートした原点は「できることから少しずつ努力をしましょう」、「家の前だけでもいいから腕章を付けて立ちましょ。さらにできたら、10mでも20mでも歩いてみましょう」ということで、7人が集まりました。

まず」と声を掛けられます。道路を渡り、狛江消防署の近くでも署員から朝のあいさつの声があります。

第一小学校に向かって「あいさつ通り」がありますが、ここでも子どもたちから元気の良いあいさつの声掛けがあり、緑野小学校の校門では、校長先生が「おはよう」と子どもたちを迎え入れています。

ユニディの裏を通り、トンボ池公園へとパトロールは続きます。以前、トンボ池公園の公衆トイレの中で新聞紙が燃やされるいたずらがあり、見守ってほしいといわれてか

朝のパトロールで、第一中学校の正門を通るとき、子どもたちから「おはようござい



和泉北町会支部の方々

ら、公園に立ち寄るようにしています。そこでは、知人がトイレ掃除をボランティアで行っていて、もう10年近くになります。知人を見習って、このパトロールも継続してやっていこうと思います。

これで、朝55分程のパトロールは終了です。安心安全なまちづくりのため、日々、防犯パトロールに励みたいと思います。
〔問い合わせ〕安心安全課

福祉サービス支援室



新井孝夫福祉サービス支援室長

すること、各種福祉手当の支給事務、障害者手帳の申請受付、福祉施設入所、通所者への相談・支援、精神保健の一般相談にかかわっています。

各課業務紹介コーナー ～課長からのメッセージ～ 12

福祉サービス支援室は、2係から構成されており、総合調整担当では福祉サービスに関する施策の企画、福祉に関する相談、地域福祉計画に関すること、都営住宅の入居申し込み、民生委員・児童委員に関すること、宿泊補助などに携わっています。

また、障がい者支援担当は、障がい者関係団体に関すること、各種福祉手当の支給事務、障害者手帳の申請受付、福祉施設入所、通所者への相談・支援、精神保健の一般相談にかかわっています。

この数年、障がい者制度が目まぐるしく変化する中で障害者自立支援法が実施され、今、障がい者施策が変わろうとしています。制度が変化していく中で、多くの情報を収集し、障がい者の方がこの狛江で安心して暮らせるように、職員一同が日々の業務に取り組んでいます。私は市外に住んでいます。

SOGI サポートセンター
☎ 0120-255-297
地域・エリア問わず対応!

あなたの願う「お葬式」を実現致します
家族葬の提案 (基本一式) 398,000円～
お元気な時や介護への成年後見制対応
【ホームページ】リンMCグループで検索して下さい

代表 林 清子
相談 & 提案
葬送 100% 見積
毎月1回 セミナー 開催
散骨 宇宙葬 etc.

3/19(金)狛江駅前
あの! 人気パソコン教室が新規オープン!!
2年配の方からお子様まで、楽しくパソコンの操作を学ぶことができる初心者に優しいパソコン教室「キュリオステーション」は、おかげ様で全国120店舗! 毎日通っても月々3150円と、お得な価格で覚えられまで継続できます。「パソコンをやってみよう!」と、ちょっとこわい!とお思いの方、是非この機会に新規オープンの「キュリオステーション」にお越しください!
＜オープニング・キャンペーン実施中＞
【無料体験】を先行予約受付中です。
(ご入学時、別途コース料金が必要になります)
ご予約・詳しいお問い合わせは
フリーダイヤル 0120-01-6868 まで、
お気軽にお申し付けくださいませ!
キュリオステーション 狛江駅前店
343-0125 アルカビルズ 8 1階
(前日駅前郵便局入り、ファミリーマート隣り)

葬儀のご相談、事前のお見積承ります

つたえない、大切なこと

くらの友儀典センター
TEL.042-336-8470

調布総合斎場 調布市布田
桜新町式場 世田谷区桜新町
津田山総合斎場 川崎市高津区下作延

泉龍寺・玉泉寺などの寺院会館や自宅・集会所でのご葬儀は、くらの友におまかせください。

インフォメーション

催し

■野川緑地公園観覧会

〔日時〕 3月23日(火)午前9時30分～正午(小雨実施)。中央公民館集合(テーマ) 小金橋まで歩きながら、野川緑地公園の植物を観察し、川だったころの姿をしのぶ〔講師〕 小田原富也さん(日本自然保護協会指導員)

〔問い合わせ〕 環境を考える会 狛江市実行委員会事務局(環境管理課環境整備係)

■ひかりの桜まつり

〔日時〕 4月3日(土)午前10時～午後2時30分〔会場〕 ひかり作業所〔内容〕 フリーマーケット、ミニコンサート、餃子スープ無料配布、餃子販売※フリーマーケットの出店希望者は3月19日(金)までに申し込みください。

〔申し込み・問い合わせ〕 ひかり作業所 ☎(3489) 6452(土・日曜日、祝日を除く)へ。

お知らせ

■飲酒運転させないTOKYOキャンペーン

3月25日(木)から31日(水)まで、

■「悪質な訪問販売お断り」シールを活用ください

悪質な訪問販売による被害を防ぐため「悪質な訪問販売お断り」シールを作成し、各家庭に3月上旬に配布しました。

シールは左右

2枚で構成し、

左側(大きい方)

は玄関の郵便受

けなどに掲示す

る屋外用、右側

(小さい方)は

屋内用で、訪問

販売などで困った場合に、すぐ

連絡・通報できるよう狛江市消

費生活相談コーナーや東京都消

費生活総合センターの連絡先を

記してあります。

〔問い合わせ〕 地域活性課地域

振興係

■ファミリー・サポート・セン

ター説明会

〔日時〕 3月26日(金)午前10時30分～正午〔会場〕 和泉児童館※駐車場はありません〔内容〕 子育ての手伝いをしてほしい方と手伝いをしたい方が、地域の中で相互に助け合いながら子育てをする有償のボランティア活動の説明会※1歳以上の託児あり(要予約)

〔申し込み・問い合わせ〕 ファ

ミリー・サポート・センター ☎

(3480) 1587(火～土

曜日午前10時～午後6時) へ。

■春の交通安全運転者講習会

〔日時〕 3月23日(火)午後7時～

8時※受け付けは6時30分から

〔会場〕 中央公民館

セミナー

〔問い合わせ〕 調布警察署 ☎042(488) 0110

■防災講演会

〔日時〕 3月25日(木)午後6時30分～8時30分(6時開場)〔会場〕

中央公民館※直接お越しください

い(テーマ) 長続きする地域の

防災活動〔講師〕 瀧本浩一さん

(山口大学准教授) ※講演後、

狛江市防災マップ、狛江市地震・

洪水ハザードマップの活用方法

を説明します。

〔問い合わせ〕 安心安全課

募集

■組成分析に参加しませんか

〔日時〕 3月30日(火)午前9時から2時間程度〔会場〕 ビン・缶

リサイクルセンター〔持ち物〕

タオル・長靴※汚れてもよい服

装でお越しください。

〔問い合わせ〕 清掃課

■第5期野川流域連絡会委員

〔対象〕 野川流域に、在住・在

学・在勤の方または活動してい

る市民団体で、年2回程度の全

体会議と月1回程度の分科会に

出席できる方※結果は、5月中

旬から下旬に本人に通知します。

〔申し込み・問い合わせ〕 4月

16日(金)までに、作文「応募の動

機について」(800字程度)に

住所・氏名・電話番号(在学・

在勤の場合はその住所と電話番

号)を記入の上、〒183-0006府中市緑町1-27-1東京都北多摩南部建設事務所「野川流域連絡会」事務局 ☎042(330) 1845へ。

■エイジレス・ライフ実践者および社会参加活動事例～高齢期における生活の参考に～

〔推薦対象〕▽エイジレス・ラ

イフ実践者 おおむね65歳以上

の方で、年齢にとらわれず自ら

の責任と能力において自由に生

き生きとした生活を実践してい

る方▽社会参加活動 積極的な

活動を通じて社会とのかかわり

を持ち、生き生きとした生活を

送っている、おおむね65歳以上

の方を中心に構成しているグル

ープ等詳しくはホームページ

(<http://www8.cao.go.jp/kourei/kou-kei/h22-ageless.html>)をご覧ください〔申し込み〕

3月16日(火)から26日(金)まで

に、活動内容などが分かる書類

を介護支援課高齢者支援係へ。

自薦他薦は問いません。

〔問い合わせ〕 内閣府政策室高

齢化社会対策担当 ☎(3581) 9268

図書館

◎南部地域センター

☎(3489) 2150

■なんぶおはなし会〔日時〕 3

月19日(金)午後3時30分から〔対

象〕 幼児～小学校低学年〔大型

絵本〕はらぺこあおむし〔おは

なし〕だめといわれてひっこむ

な〔折り紙〕ちょうちょ



子育て

■わらべうたと絵本の会〔日時〕 3月29日(月)午前11時～11時30分〔対象〕 乳幼児保護者

◎岩戸児童センター

☎(3489) 5414

■タスケチャンピオンズカッ

プ〔日時〕 3月25日(木)午後

4時～5時〔対象〕 小学生

◎子ども家庭支援センター

☎(5438) 6606

■はいはいクラブ・よちよち

クラブ・とつとつクラブ〔対

象・日程〕▽はいはい(はい

はいからつかまり立ち) 月

1回月曜日▽よちよち(1

2歳)・とつとつ(2歳以上)

月1回木曜日〔時間〕 午前

10時30分～11時30分〔内容〕

親子遊びや保護者の交流など

〔申し込み〕 3月23日(火)から

◎多摩川保育園

☎042(483) 4667

■園庭開放〔日時〕 3月24日

(水)午前10時～11時(雨天中止

〔内容〕 移動動物園など

平成22年国勢調査員の募集

〔対象〕 ▽20歳以上の健康な方▽秘密保持ができる方▽税務・警察・選挙事務に従事していない方

〔期間〕 9月上旬～10月下旬

〔内容〕 ▽説明会出席▽担当

調査区の確認・リーフレット

配布▽調査票の配布・回収な

ど※調査票の郵送提出など、調査員の負担が軽減します。

〔報酬〕 2調査区(約140世帯)で7万円程度

※調査区数および世帯数により若干増減します。

〔問い合わせ〕 総務課庶務統

計係